

平成 17 年 11 月 15 日

J A R I P 会員各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
坂本純一・栗山晃

J A R I P 平成 17 年度第 4 回研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本保険・年金リスク学会（J A R I P）では会員の研鑽のため、重要なテーマについてより深く研究討議を行う研究会を実施しております。

平成 17 年度第 4 回の研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、千葉大学大学院専門法務研究科の青木浩子教授から「金融機関のグローバルなリスク規制の枠組みー著書「新バーゼル合意と資産証券化」の内容紹介とその後の経緯について」のテーマでご報告いただきます。

著書では、ほぼ 15 年ぶりに大改正が行われた新バーゼル合意における金融資産証券化に対する資本賦課の問題を扱うにあたり、まず問題の所在、米国における銀行資産証券化に関連する資本比率規制および会計基準を紹介した上で、新バーゼル合意案中の証券化関連の内容を解説されています。今最も注目されているこのテーマにつき、著書以降の動向にも触れていただける予定としております。

I A I S ・ B C B S ・ I O S C O のジョイント・フォーラムにおいては、銀行・証券・保険すなわち金融サービス機関に共通の規制の枠組みが検討されており、保険・年金規制を含めたリスク規制全般の視点からも絶好の研究・討論の場になることが期待されます。会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第 4 回研究会

日時：平成 17 年（2005 年）12 月 8 日（木）3 時から 5 時 30 分

場所：朝日生命会議室

□（地下鉄大手町駅または JR 東京駅下車、徒歩 5 分）

（別紙 周辺地図をご参照下さい）

講師：青木 浩子氏（千葉大学大学院専門法務研究科教授）

（別紙 略歴をご参照ください）

テーマ：「金融機関のグローバルなリスク規制の枠組み－著書「新バーゼル合意と資産証券化」の内容紹介とその後の経緯について」

2. 参加申込

参加希望者のお名前・所属組織名・Eメールアドレス・電話番号に加え、件名を「第4回研究会への参加申込」と明記の上、Eメールにて

To : office@jarip.org（日本保険・年金リスク学会事務局 担当：中村祐子）

cc : kuriyama_akira@mail.asahi-life.co.jp（同研究会担当：栗山晃）

迄お申込ください。参加申込は12月5日（月）迄とさせていただきます。

3. 参加費

研究会の参加費は無料ですが、資料代などの実費をカバーするため、会場にて1000円程度のカンパをお願いしております。趣旨ご高配の上、ご協力いただけますよう宜しくお願い申し上げます。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承いただきたくお願い申し上げます。

以上